

彙 報

第 47 回日本言語学会大会

金沢大学法文学部において昭和 37 年 10 月 27 日公開講演会, 10 月 28 日研究発表会を開催。

1. 公開講演会

機械翻訳は可能か

浅井 恵倫氏

意味の問題

山口 秀夫氏

2. 研究発表会

1) Hova 語音韻体系

黒川 洋氏

2) クメル語のサンスクリット要素

福田 権一氏

3) アラビヤ語動詞意味構造の一問題

牧野 信也氏

4) 節用集の門の配列についての一考察

佐藤 茂氏

5) お湯殿の上の日記の文体

堀井 令以知氏

6) þæt in Anglo-Saxon

小林 智賀平氏

7) ハイデッガーとヴィットゲンシュタインの言語観

レンメルヒルト氏

なお, 研究発表会当日午前の部終了後, 小林英夫氏の「第 9 回国際言語学者大会報告」が行われた。

昭和 37 年度第 3 回委員会

日 時: 昭和 37 年 9 月 17 日 17:30—20:00

場 所: 東大正門前ポルト

出席者: () 内数字は委任状受託数

泉井久之助 (4), 亀井 孝, 金田一春彦, 高津春繁 (4), 河野六郎 (3), 小林智賀平, 徳永康元, 前田護郎, 村山七郎。 白紙委任状 4 (委員総数 37 名)

議決事項:

1. 昭和 37 年度秋季大会 (第 47 回, 於金沢大学) に関して細目を決定。
2. 昭和 38 年 5 月の九学会連合大会における 本会からの 研究発表者は次の通りとする。

共同課題 1 「日本の地域性」については徳川宗賢氏。

共同課題 2 「日本の美」については小林英夫氏 又は 同氏御推薦の方に交渉する。

昭和 37 年度第 4 回委員会

日 時: 昭和 37 年 10 月 27 日 12:00—13:30

場 所: 金沢大学法文学部

出席者: () 内数字は委任状受託数

浅井 恵倫, 泉井久之助 (4), 岩井隆盛 (1), 亀井 孝, 北村 甫, 河野六郎 (4),

小林智賀平, 小林英夫, 徳永康元 (2), 三根谷徹 (1), 村山七郎。

白紙委任状 2 (委員総数 37)

議決事項:

1. 第 47 回大会 (於金沢大学) の運営進行に当る委員を決め, その役割分担を決定, ほかに次の事項を決議した。
 - (1) 10 月 28 日研究発表会午前の部, 一名辞退につき, 小林英夫氏「第 9 回国際言語学者大会報告」を追加する。
 - (2) 大会開催にあたって多大の援助を賜った石川県教育委員会, 金沢市教育委員会へ感謝の意を表するため, 小林英夫氏に両教育委員会への挨拶を依頼する。
2. 第 48 回大会 (於東京外語大学) について
 - (1) 大会運営委員長は金田一春彦氏または徳永康元氏に委嘱する。
 - (2) 公開講演会の講演者については神保格氏, ガバイン女史に交渉する。
 - (3) 開催日は昭和 38 年 5 月のいずれかの土曜・日曜 2 日間とする。
3. 学術会議選挙管理会の新委員 (昭和 38 年 4 月より 3 年間) について本会からは木村彰一氏を推薦する。
4. 九学会連合大会 (昭和 38 年 5 月) における共同課題「日本の美」の本会からの研究発表者は榎垣実氏に交渉する (同氏は承諾された)。

- ◇ 本会評議員・委員小林英夫氏は、本会代表として Ninth International Congress of Linguists に出席、米・欧視察の後、昭和 37 年 10 月 25 日帰国。
- ◇ 本会評議員・委員泉井久之助氏は学術会議第 6 期会員(第 1 部)に立候補、当選された。
- ◇ 本会評議員・委員長服部四郎氏は上記 Congress における任務を終え、米国・英国・フランス・ベルギー・オランダ・西ドイツ・トルコを視察の後、昭和 37 年 12 月 30 日帰国。

委員会規約について 75 頁参照。